

4-1

出題範囲4 ユーザー設定のWord要素の作成

文書パーツ、マクロ、コントロールを作成する、変更する

理解度チェック	習得すべき機能	参照Lesson	学習前	学習後	試験直前
<input checked="" type="checkbox"/>	■文書パーツを作成できる。	→Lesson50	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	■文書パーツを挿入できる。	→Lesson51	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	■文書パーツを更新できる。	→Lesson51	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	■文書パーツのプロパティを設定できる。	→Lesson52	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	■文書パーツを削除できる。	→Lesson53	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	■テキストコンテンツコントロールを挿入できる。	→Lesson54	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	■コンボボックスコンテンツコントロールを挿入できる。	→Lesson54	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	■日付選択コンテンツコントロールを挿入できる。	→Lesson54	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	■コンテンツコントロールのプロパティを設定できる。	→Lesson54	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	■編集を制限できる。	→Lesson55	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	■マクロを作成し、実行できる。	→Lesson56	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	■マクロを削除できる。	→Lesson56	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

4-1-1 クイックパーツを作成する



解説

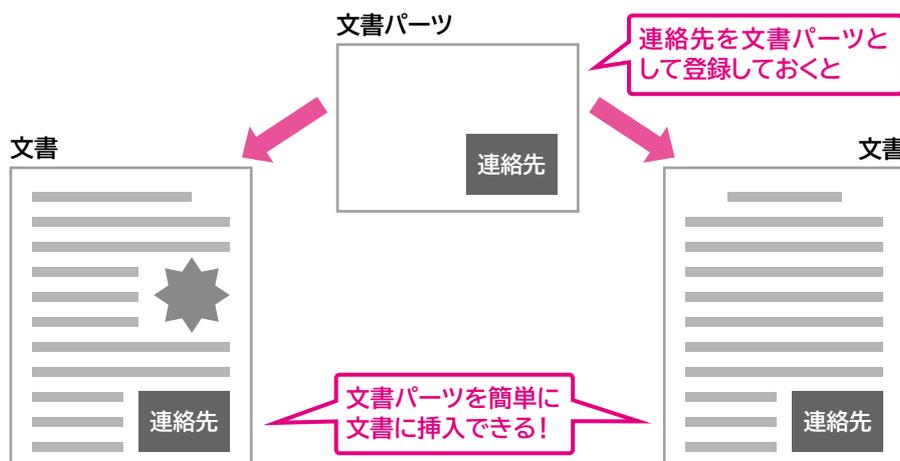
■クイックパーツの作成

Wordには、あらかじめデザインされたテキストボックスやヘッダー、フッター、目次などの部品が用意されており、これらの部品のことを「文書パーツ」といいます。文書パーツを使うと、見栄えのする部品を文書に挿入して利用できます。あらかじめ用意された文書パーツを利用するほかに、ユーザーが頻繁に利用するようなオリジナルの部品を作成して「クイックパーツ」として登録しておくこともできます。使用頻度の高い文言やロゴなどを登録しておくことで、毎回入力し、書式を設定する手間を省くことができ、効率的です。例えば、連絡先を記したテキストボックスを文書パーツに登録しておくことで、別の文書に簡単にその連絡先のテキストボックスを挿入できます。

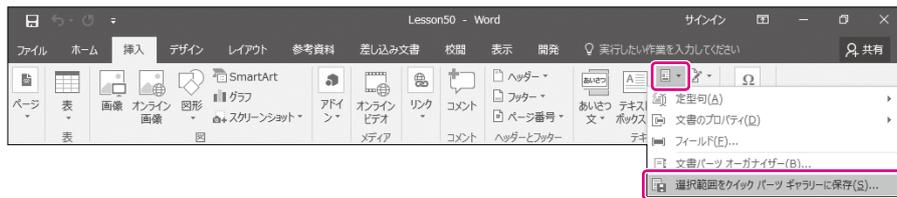
Point

クイックパーツ

文書パーツには「ギャラリー」と呼ばれるグループがあります。クイックパーツはそのグループのひとつで、ユーザーが頻繁に利用する部品を集めておくグループです。例えば、ユーザーがどの文書にも挿入するような連絡先やロゴなどを登録しておくことで、それがテキストボックスでも図形でも、いつも《挿入》タブ→《テキスト》グループの  (クイックパーツの表示) で挿入できるようになります。



クイックパーツを作成するには、《挿入》タブ→《テキスト》グループの  (クイックパーツの表示) → 《選択範囲をクイックパーツギャラリーに保存》を使います。



Lesson 50

 文書「Lesson50」を開いておきましょう。

次の操作を行いましょよう。

- (1) 文頭の「FOM Health Report」の段落を「FOMタイトル」という名前で文書パーツとして保存してください。ギャラリーは「クイックパーツ」、保存先は「Building Blocks」とします。
- (2) 文末の「FOM健康管理センター」のオブジェクトを「FOM署名」という名前で文書パーツとして保存してください。ギャラリーは「テキストボックス」、保存先は「Building Blocks」とします。

Lesson 50 Answer

Point

段落記号を含めて選択

文書パーツとして、インデントや行間などの段落書式を保存する場合は、 (段落記号) を含めて選択します。

その他の方法

文書パーツの作成

◆  + 

Point

《新しい文書パーツの作成》

①名前

文書パーツの名前を入力します。

②ギャラリー

文書パーツの種類を選択します。ヘッダーやフッター、表紙など、登録する内容に合わせて選択します。

③分類

文書パーツを分類する場合に、その分類名を選択します。分類は新しく作成することもできます。

④説明

文書パーツの説明を入力します。

⑤保存先

文書パーツの保存先を選択します。

⑥オプション

文書パーツの挿入方法を選択します。

(1)

①「FOM Health Report」の段落を選択します。

※ (段落記号) を含めて選択します。

②《挿入》タブ→《テキスト》グループの  (クイックパーツの表示) → 《選択範囲をクイックパーツギャラリーに保存》をクリックします。



③《新しい文書パーツの作成》ダイアログボックスが表示されます。

④《名前》に「FOMタイトル」と入力します。

⑤《ギャラリー》が《クイックパーツ》になっていることを確認します。

⑥《保存先》が《Building Blocks》になっていることを確認します。

⑦《OK》をクリックします。

